

## △ジクトルテープ [外]

【重要度】★ 【一般製剤名】ジクロフェナクナトリウム Diclofenac Sodium 【分類】経皮吸収型 持続性疼痛治療剤

【単位】△75mg/枚 [7枚/袋] (70mm×100mm=70cm<sup>2</sup>)

【常用量】

■各種がんにおける鎮痛

1日1回、2枚貼付して約24時間毎に貼り替え [最大1日3枚]

■腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎

1日1回、1枚または2枚を貼付して約24時間毎に貼り替え

【用法】1日1回貼付 [胸部、腹部、上腕部、背部、腰部又は大腿部に貼付]、24時間毎に貼り替え

貼付箇所を毎回変更

途中ではがれ落ちた場合は直ちに新たに貼付 (風呂上がりなどに貼付)

膝など関節部位には貼付しない (剥がれやすい)

※がんでは枚数制限なし、運動器疼痛は湿布薬と同じ扱い

【透析患者への投与方法】慎重に適用 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】重篤な腎機能障害には禁忌 (1) できれば避ける (5)

【特徴】経皮吸収型ジクロフェナク製剤。1日1枚貼付の場合のAUCは錠剤25~37.5mg/日に相当。3枚=100mg相当で内服の最大量。貼付部位注意。

【主な副作用・毒性】全身投与のジクロフェナクと同じで、かつ局所反応にも注意

【安全性に関する情報】他の全身作用を期待する消炎鎮痛剤との併用は可能な限り避ける [アセトアミノフェンは可、ロコアを除く外用剤の使用は可] (1) 長期使用時は定期的に尿検査、血液検査及び肝機能検査等を実施。また、薬物療法以外の療法も考慮 (1)

【吸收】ka=0.0276/hr (1)

【F】3枚貼付すると経口製剤の1日量に匹敵するAUC (1)

【tmax】4~13hr (1)

【代謝】CYP2C9 で代謝 (1)

【排泄】

【CL/F】83.0L/hr (1)

【t1/2】2.86hr (1)

【蛋白結合率】99.5%以上 [Alb] (1)

【Vd/F】5330L/body (1)

【MW】318.13

【透析性】除去されない (5)

【相互作用】全身吸収されるため、全身投与ジクロフェナクと同様の注意が必要 (1)

【主な臨床報告】

【備考】開封後はチャックを閉め密封して保管し開封日より30日を超えて使用しない (1)

【更新日】20250402

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についての責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインターネットフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断複数・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。